

取組事例 5

塗料製造業の組合員をサポートするために

関東塗料工業組合

関東・甲信越地域の塗料製造業を支援する団体です

団体概要

所在地 : 東京都
会員数 : 46社 (総従業員数約4900名)
事業内容 : 組合員各社の事業をサポートするべく、塗料製造業に必要な知識や情報の提供、調査・研究、従業員の教育や福利厚生などの事業
申請年度 : 令和5年度



活用の背景と目的

・会員は中小企業が多く、なかなか単独でこうした研修をうける機会に恵まれないため、組合として定例開催しているセミナーの一環としてハラスメントの基礎的な知識習得のためのセミナーを開催した。管理職を中心に、ハラスメント全体を学ぶ内容を設定した。

申請するまでの流れ

時期	実施したこと
令和5年度分申請	
令和5年8月	助成金の存在を知り、申請
令和5年10月	公認心理師によるラインケア（職場のメンタルヘルス等）研修の実施
令和5年11月	公認心理師によるラインケア研修（職場のメンタルヘルス等）の実施

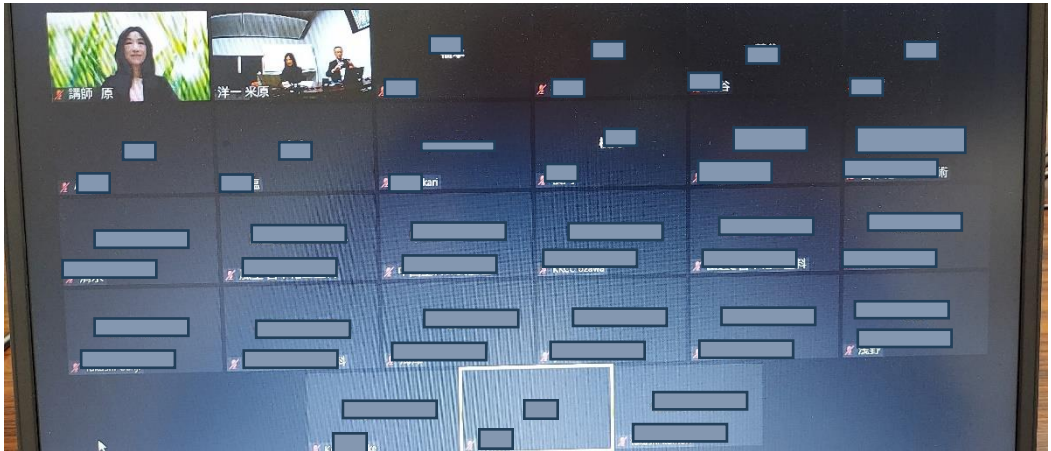
会員に提供したサービスの内容

令和5年度実施内容

○ ラインケア研修の実施（リーフレット裏面の申請サービス⑦）

- ・「来場型」と「オンライン型」の同時開催で延べ81人（第1回29人、第2回52人）が参加し、「職場におけるメンタルヘルスの重要性」「メンタルヘルスの知識」「メンタル不調の早期発見と対処法」の研修及び「職場復帰支援・快適な職場づくり」の実例検討を含め実施。

2023年10月12日
オンライン研修の様子
講師の原先生は東京塗料
会館から講演し（右写
真）、オンラインで視聴
者に配信した（下の写
真）。
2回目については、会場
参加者もあり、オンラ
インとのハイブリッド形
式で実施した。



取組の成果

アンケートにて効果を検証した結果、ほとんどの回答者が、①興味、②有用性③わかりやすさについて肯定的評価をしており、さらに数は多くないものの④今後さまざまな形で職場において積極的・主体的に活用していく旨の意志表明（「課内メンバーと共有し、自分で実践していく。」、「部下と共有し、人事対応に活かしたい」など）も認められた。

申請に当たり 苦労した点

初めての申請であったため、記入の不備が多く、何回も指導をいただきながら、訂正、提出を繰り返すことになった。審査担当の方が根気強く丁寧にご指導してくださり、最終的には申請を受理されました。

これから申請 を検討してい る団体への アドバイス

小さな業界団体なので、こうしたセミナーを開催するにも予算の制約があり、これまで思うような講師を招聘できませんでした。今回は助成金8割（※現在は9割助成）をいただき、大変有能な講師に研修をしてもらうことができました。来年も是非お願いしたいと思っております。この制度の活用をお勧めします。

